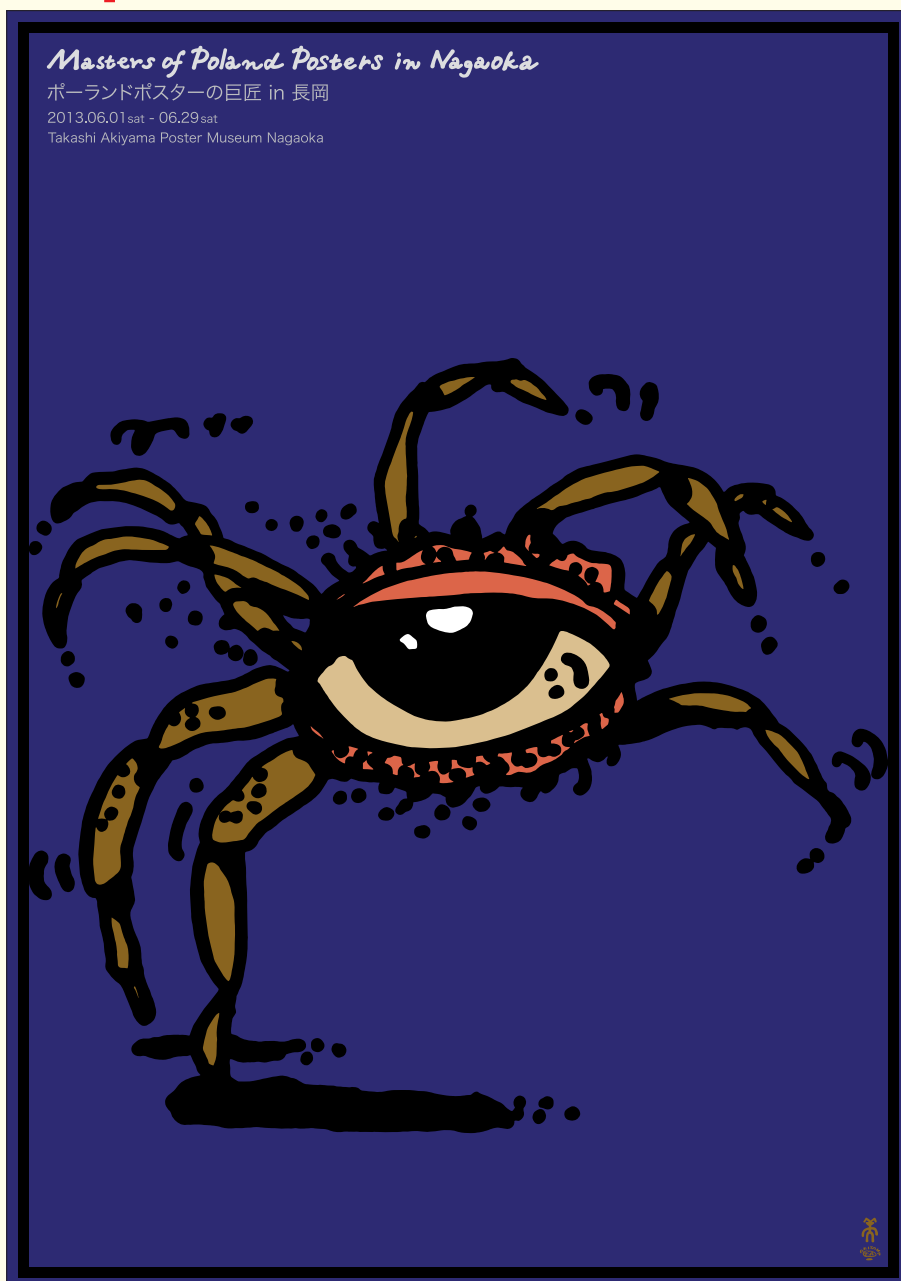


# Report-5 2014-2013

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka





第19回美術館大学「『ポーランドポスターの巨匠 in 長岡』について」 講師：御法川哲郎、秋山孝 2013年6月1日

ごあいさつ

秋山 孝

秋山孝ポスター美術館長岡・館長  
多摩美術大学・教授

秋山孝ポスター美術館長岡 (APM)は、今年の7月12日で5周年を迎える。APMの活動記録によると2009年7月11日開館から2014年3月31日(4年8ヶ月)まで15回のAPM企画展、22回の美術館大学、25回の課外授業、5回のワークショップを行い計67回のイベントを開催した。来館者は、6367名であった。2013年に完成した蔵には、新企画で秋山の高校生、受験生、大学生、大学院生時代から現在までの代表作を選定したものと、影響を受けた先生の作品展示を計画している。一般公開は行わず、特別展示あるいは指定日を決めて鑑賞できるようにしたい。その背景には、今現在スタッフの不足と予算の確保ができない問題を抱えている。

2013年度は、第12回企画展「秋山孝が選んだ高田清太郎の30の金言『高田清太郎の建築デザイン哲学』展」、第13回企画展「『ポーランドの巨匠 in 長岡』展」、第14回企画展「メッセージイラストレーションポスター十四選『声なき声を聞く』秋山孝ポスター展5」、第15回企画展「メッセージイラストレーションポスター展5」の4つの企画(入館者合計:1265名)を行った。

それに伴い、第18回美術館大学「秋山孝が選んだ高田清太郎の30の金言『高田清太郎の建築デザイン哲学』について」/講師:高田清太郎、秋山孝/受講者:73名、第19回美術館大学「『ポーランドポスターの巨匠 in 長岡』について」/講師:御法川哲郎、秋山孝/受講者:68名、第20回美術館大学「メッセージイラストレーションポスター十四選『声なき声を聞く』秋山孝ポスター展5について」/講師:秋山孝/受講者:60名、第21回美術館大学 第1部「秋山孝 自作を語る3」、第2部「我 斯く 建築に向かう」/講師:第1部 秋山孝、第2部 平山育男/受講者:63名、第22回美術館大学「東京装画賞について」/講師:末房志野、御法川哲郎、秋山孝/受講者:51名の5つの美術館大学(受講者合計:315名)を実現できた。

さらに博物館実習 in APM/実習者:海津紗弥香、杉山沙織、須佐葉月、鈴木智里、堀内まりえ(5名ともに長岡造形大学)、課外授業は7件(上組小、多摩美術大学ほか)あり、381名の受講者があった。2013年度から始まったAPMワークショップは5回開催し、50名の参加者があったことも記したい。

APMは、1-作品展示(アーカイブ)、2-研究、3-教育を活動目的にしている。そのため2014年度も企画展、美術館大学、博物館実習、課外授業、ワークショップの充実をはかり、社会貢献の実践と実現を行っていく。

法人会員、終身会員、一般会員によるサポーターズ倶楽部の皆様に感謝するとともに、ご報告いたします。



秋山孝ポスター美術館・蔵 2013年8月14日

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2013-04-25

# APM news 080

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2013年4月号 vol.147

## 地震津波 Earthquake Japan

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

### 秋山孝長岡コレクション 130

長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展

<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



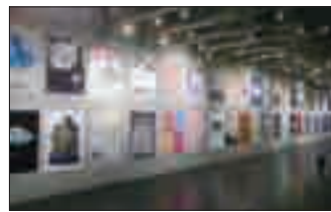
**秋山 孝** 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長  
1952年長岡市生まれ。上組小学校、宮内中学校、長岡商業高等学校、多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE+HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞する。他、各国のビエンナーレにおいて多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランドで国際ポスター展の審査員として招聘される。著書に「キャラクターコミュニケーション入門」(角川書店)「Chinese Posters」(朝日新聞出版)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡  
<http://apm-nagaoka.com/>



2012年9月で1年6ヶ月が経ち、例年通りに「Earthquake Japan 地震津波」の地震プロジェクトの展覧会を開催した。はじめは、多摩美術大学で「デザイナーのできることは何か」のスローガンで始まった。そして、東京工芸大学が参加し、今年は長岡造形大学が加わり、3大学での開催となった。徐々に美術系の教育機関に影響を与えはじめている。ポスターのアイデアは津波の恐ろしさを、人間の顔のシルエットを使い、力強い生命力も加え、デザインした。北は青森県八戸から、岩手、宮城、福島、茨城、千葉の太平洋側の海岸にある街を壊滅した。津波に対するあまい意識と監視が明らかになり、東日本の津波監視網の多角的構築が急務である。



[Title] ----- 地震津波 Earthquake Japan  
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)  
[Technique] --- Offset printing  
[Date] ----- 2012  
[Client] ----- 多摩美術大学イラストレーションスタディーズ  
[Category] ---- 社会、教育  
[Idea] ----- 津波の恐ろしさを、人間の顔のシルエットを使い、力強い生命力も加え、デザインした。



「高田清太郎の建築デザイン哲学」展

4月20日(土)～5月25日(土) 秋山孝ポスター美術館長岡  
Tel, Fax : 0258-39-1233 E-mail : [info@apm-nagaoka.com](mailto:info@apm-nagaoka.com)

OPEN

(上) 地震ポスター支援プロジェクト・イラストレーションポスター展/東京工芸大学  
(下) 地震ポスター支援プロジェクト・イラストレーションポスター展/長岡造形大学

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2013-05-01

# APM news 081

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2013年5月号 vol.148

## The Origin of Chinese Character

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

### 秋山孝長岡コレクション 131

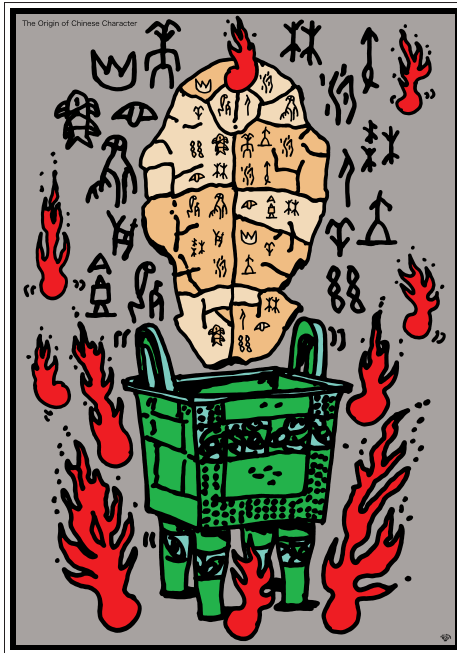
長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展  
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



**秋山 孝** 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長  
1952年長岡市生まれ。上組小学校、宮内中学校、長岡商業高等学校、多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞する。他、各国のビエンナーレにおいて多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランドで国際ポスター展の審査員として招聘される。著書に「キャラクターコミュニケーション入門」(角川書店)「Chinese Posters」(朝日新聞出版)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡  
<http://apm-nagaoka.com/>



中国上海にある松江(ソンジャン)美術館からの依頼で、古代というテーマで作品制作依頼があった。ぼくは文字と青銅器を選び、それをモチーフとしてキャンパスに描くことにした。それをもとにポスター化した。实在、確認されている最古の王朝は殷とされ、黄河文明で生まれた巨大な都市国家の盟主である。現在、存在する中での最古の漢字は、殷王朝第22代武丁の頃の甲骨文字である。また、殷から春秋時代までが青銅器時代に相当する。デザインは、青銅器と甲骨文字ともに「火」を重要なエレメントのつなぎとし、自然を表す、山、森、林、人、鳥、魚、美などの甲骨文字を配し、殷前期河南(かなん)省鄭州(ていしゅう)出土の獣面百乳文大方鼎の青銅器を中心に置いた。

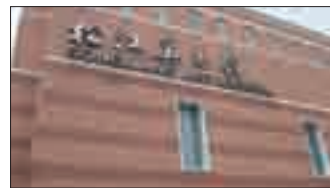
[Title] ----- The Origin of Chinese Character  
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)  
[Technique] --- Offset printing  
[Date] ----- 2012  
[Client] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡  
[Category] ---- 文化  
[Idea] ----- 最古の漢字は、殷王朝第22代武丁の頃の甲骨文字である。青銅器と甲骨文字ともに「火」を重要なエレメントのつなぎとした。



「高田清太郎の建築デザイン哲学」展

4月20日(土)～5月25日(土) 秋山孝ポスター美術館長岡  
Tel, Fax : 0258-39-1233 E-mail : info@apm-nagaoka.com

OPEN



(上) 2009年秋山孝個展/会場・上海 松江美術館  
(下) 展覧会ビルボード

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2013-05-20

# APM news 082

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)

第18回美術館大学 4月20日(土) pm 3:00~4:30 / 受講者: 73名 / 講師: 高田清太郎、秋山孝

「秋山孝が選んだ30の金言・  
高田清太郎の建築デザイン哲学について」



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233



18回目の美術館大学は第12回企画展に合わせて「『秋山孝が選んだ30の金言・高田清太郎の建築デザイン哲学』について」というテーマで行われた。長岡市撰田屋に居を構える高田建築事務所の代表取締役・高田清太郎氏の展覧会である。秋山館長は、以前より地元の人を取り上げる展覧会をしたと考えていた。そしてその第一弾は秋山孝ポスター美術館長岡のサポーターズ倶楽部会長を務めている高田氏にしたいとも考えていた。展覧会を企画するに当たって秋山館長は、高田氏の著作物のひとつであるブログから心に響いた言葉を選び出し、それを「金言」とした。そしてそれに対応する図像を、図面、建築写真、立体模型などといった高田氏の作品の中から、高田氏と秋山館長の二人で選び出し、金言と図像とをポスターに仕上げた。この、「選ぶ」という作業がとても重要で、かつ非常に難しいのだという。いくつもの候補の中から本質を見極め、それ以外のものを削ぎ落としていくことが大切で、それによって作品が最大限にシンプルになり、伝えたいことがダイレクトに伝わるのである。

高田氏と秋山館長の対談は、約半数もの金言に及んだが、中でも金言20の「何気ない一言が人を動かす。私を動かす。」は、秋山孝ポスター美術館長岡(APM)の蔵についての言葉であったこともあり、熱を感じた。APMには現在建設中の蔵(収蔵庫)がある。このときに秋山館長が高田氏に依頼したのは、高田氏の得意とする「構造」を全面に出してほしいということであった。APMはフレンチトラスという鉄骨作りの屋根が使われているが、蔵の屋根は断面を見るとMの文字に見えるため、「M字構法」と名づけた。Mは宮内のM、であり、ミュージアムのMでもある。引っ張る力と圧縮する力がバランスよく屋根を支える構造であるという。そこには力の流れが存在する。空間の流れと心の流れ。この流れが大切なのだそうだ。

質疑応答では長岡造形大学の山下教授より質問をいただいた。アメリカの建築家のフィリップ・ジョンソンは「クライアントはいない方がいい」という言葉を残しているが、高田氏はこれに対してどう思われるか、という内容であった。これに対し高田氏は、「クライアントがいないと設計できない」と答えた。クライアントとコミュニケーションする中で、そのクライアントの望むもの、望む暮らしが見えてくる。そもそも巢舞(=住まい)づくりの設計とは、すま「居方(いかた)」そのものなのであるから巢舞人、つまり住人こそが設計者であるというのが高田氏の答えであった。また、高田氏のご自分のことを建築家でなく建築屋であると自称している。芸術としての建築物でなく、あくまでもひとりひとりが主人公になれる「巢舞」を造っていくのだという気概を、その言葉に感じた。(APM公式ホームページより抜粋)

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2013-07-01

# APM news 083

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館（旧北越銀行宮内支店）



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

第19回美術館大学 6月1日(土) pm4:00~5:30/受講者:68名/講師:御法川哲郎、秋山孝  
「『ポーランドポスターの巨匠 in 長岡』について」



「ポーランドポスターの巨匠 in 長岡」は、秋山館長、御法川氏、そして学校法人高澤学園からお借りしたコレクションによって構成されている。高澤学園には貴重なポスター作品をお貸しいただき、また、長岡造形大学には御法川氏のポーランドポスター研究をご支援いただいた。多くの方々のご協力の下に展覧会を開催することができた。秋山館長がポスターの収集を始めたのは、恩師・福田繁雄先生の「本物を見ろ」という一言による。それまでもポスターの研究は行っていたが、福田先生の言葉により、一枚一枚を自分の目で確認し、研究し、コレクションしていった。

本展覧会は、ポーランドポスターの中でもリアルな表現で表されている作品を選んだ。これは御法川氏の強い希望によるものである。御法川氏が初めてポーランドポスターに魅了されたのは予備校時代で、偶然手にとったカタログの中にヴァウスキの「カリギュラ」を見つけたのがきっかけである。それまで見ていた日本のポスターは、資本主義的な明るさを持った作品が多かったが、ポーランドのポスターは文学的な暗さを持った作風のものが存在していた。また、一般的なポスターには演者の姿などが登場するが、ポーランドのポスターは作者が題材から読み取ったイメージを自由に表現している。たとえばアルベール・カミュ作「カリギュラ」の映画ポスター。これは暴君として知られるローマ帝国第3代皇帝カリギュラの内面を描いたものである。筋肉や血管の露出した顔の化け物が、目を見開き、血を思わせる印象的な赤と共に、見るものに衝撃を与える。

秋山館長からは、各ポスターと作家の特徴を解説していただいた。スタロヴェイスキはセピア色の地に白黒のコンテで描いており、「スリー・トール・ウーマン」は3人の女性を顔ではなく胸で表現するという手法をとっている。ロソハは日本人に受け入れられやすい作家で、どこか余韻を感じさせる作品が多い。サドフスキは不透明な絵の具を使っており、色味を抑えた表現が特徴である。この時代のポーランドポスターは文化的なイベントの告知ポスターが多く、商業ポスターはない。それは当時のポーランドが社会主義国だったことによる。社会主義国では物資は分配制なので、消費を奨励する必要がない。よって商業ポスターを作る必要がなく、代わって人々を楽しませるイベントのポスターが作られたのだという。ソビエトやチェコスロバキアなどは同じ社会主義国でも表現に対し厳しい規制がかけられたが、ポーランドは文化的なものに対する寛容さがあり、発展していったのだと、秋山館長より解説がなされた。最後に、「今回の展覧会で取り上げたポスターは、ポーランドポスターのほんの一部である。これからも理解と分析を進め、研究を発表していきたい」と秋山館長より一言があり、第19回美術館大学は締めくくられた。(APM公式ホームページより抜粋)

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2013-07-05

# APM news 084

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2013年7月号 vol.150  
ポーランドポスターの巨匠 in 長岡

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

### 秋山孝長岡コレクション 133

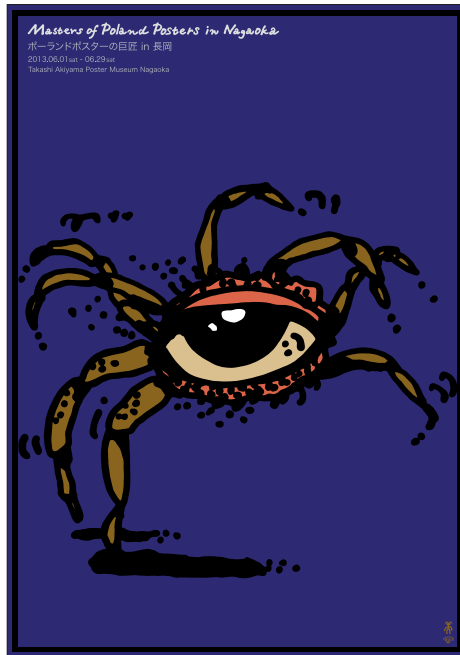
長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展  
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長  
1952年長岡市生まれ。上組小学校、宮内中学校、長岡商業高等学校、多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞する。他、各国のビエンナーレにおいて多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランドで国際ポスター展の審査員として招聘される。著書に「キャラクターコミュニケーション入門」(角川書店)「Chinese Posters」(朝日新聞出版)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡  
<http://apm-nagaoka.com/>



[Title] ----- ポーランドポスターの巨匠 in 長岡  
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)  
[Technique] --- Offset printing  
[Date] ----- 2013  
[Client] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡  
[Category] --- 文化  
[Idea] ----- ポーランドポスターの文学的なイメージを、カフカの「変身」になぞらえた。



メッセージイラストレーションポスター十四選  
「声なき声を聞く」秋山孝ポスター展5  
7月6日(土)～9月23日(月) 秋山孝ポスター美術館長岡  
Tel, Fax : 0258-39-1233 E-mail : info@apm-nagaoka.com

OPEN

秋山孝ポスター美術館長岡の企画展の中には、ポスター研究、アーカイブ、教育、これが必ず組み込まれている。今回はポーランドポスターの中で、演劇、映画、美術、サーカスなどの催事の告知ポスターをとりあげた。また人間の内面性を刺激する表現を全面に打ち出したもので、悲しみ、苦しみ、裏切り、嫉妬、嘲り、風刺などの深層心理に入り込む文学的内容で、資本主義国の消費社会を促すためのポスターでない。しかしこれらのポスターに驚嘆の眼を見張ったのは、資本主義国のデザイナーたちであった。より芸術的な表現の深さを感じ取れるポスターだったのである。ポスターのアイデアは、カフカの「変身」をイメージする内容を描いた。



(上) 美術館大学対談/左: 秋山孝、右: 御法川哲郎  
(下) 美術館大学講演風景



Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2013-07-20

# APM news 085

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館（旧北越銀行宮内支店）



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

第1回APMワークショップ 7月6日(土) pm 1:00~2:30/APM蔵  
参加者: 20名(他見学者5名) / 講師: たかだみつみ

### 「多色刷木版画でポストカードをつくろう！」



4周年を迎えたAPMで、この度ワークショップがスタートした。ワークショップは秋山館長がAPM設立当初からやりたいと思っていた活動のひとつである。第1回目は7月6日(土)に、宮内駅傍に新設した「蔵」において開催した。今回の内容は、「多色刷木版画でポストカードをつくろう！」。木版画は印刷技術の礎である。さらに北斎や広重等に代表される艶やかな多色刷木版画は日本で発祥した技法である。その美しさは海外から高く評価され、多くの画家に影響を与えた。世界に誇る日本の伝統技術の仕組みを体験を通して学ぶという事が、今回のワークショップの意図である。版木は事前に用意しておき、参加者は摺り行程のみを体験した。APMシンボルキャラクターを無地のハガキに4色で1人3枚ずつ摺りあげた。仕上げに消しゴムはんこで作成した「APM」の印を押し、完成である。

1時間半の開催時間で、20名が体験した。参加者は老若男女問わず、最年少は1歳の男児であった。絵具を版木に伸ばし馴染ませる道具の刷毛とブラシは、職人が実際に使用している物と同じ物を用意した。見慣れない道具に初めは戸惑っていた参加者も、段々と手つきが慣れ、絵具の量を調整したり、バレンを擦る力を加減してみたりと各々で試行錯誤を重ね、見事に絵柄を摺り上げていった。会場内には葛飾北斎の富嶽三十六景「武州先住」(復刻版)も展示し、気軽に手に取り鑑賞し、ガラス越しではわからない木版画の風合いや緻密さを感じてもらった。体験後には、「楽しかった」「勉強になった」「おばあちゃんに送る」等の感想が聞かれ、皆笑顔であったのがとても印象的であった。

APMに初めて来館したという参加者も多く、これを機に今後も足を運んでもらえると嬉しい。ワークショップは定期的に行っていく予定である。多岐に渡る内容で行い、徐々にクオリティーを上げていきたい。(たかだみつみ・APM学芸員)



Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2013-07-25

# APM news 086

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

第20回美術館大学 7月6日(土) pm 3:00~4:30/受講者:60名/講師:秋山孝

「メッセージイラストレーションポスター十四選  
『声なき声を聞く』秋山孝ポスター展5について」



「秋山孝ポスター展5」の展示は、大きく3つに分けられる。1つ目は今回の展示テーマでもあるメッセージイラストレーションポスター、2つ目は2012年から2013年7月までに制作された新作ポスター、3つ目は1985年から1988年までに制作された旧作ポスターである。今回の美術館大学は、これらのポスター作品について秋山館長ご自身から解説していただける貴重な場である。

メッセージイラストレーションポスターは、多摩美術大学イラストレーションスタディーズが開催する展覧会のためのポスターで、2000年の開催から秋山館長によって制作されている。鳥、犬、爆弾、人と、モチーフはそれぞれだが、共通するのは「沈黙の声」や「声なき声」といったポスターからのメッセージを受け取ってほしいという強い主張だ。次に2012年から制作されている新作ポスター24点について。中国上海の松江(ソンジャン)美術館からの依頼で制作されたポスターには、青銅器と文字が描かれている。「現在確認されている最古の王朝 殷」、「最古の漢字 殷王朝第22代武丁の頃の甲骨文字」、そして「殷から春秋時代までが青銅器時代である」という知識がなくてはこのポスターは作られなかった。1985年から1988年のポスターは、なんととっても色が美しい。それはこの年代のポスターがシルクスクリーンで印刷されていたからである。CMYK(シアン、マゼンタ、イエロー、クロ)のインクを掛け合わせて色を表現するオフセット印刷と違い、シルクスクリーン印刷は色を調合してから刷るので、色が濁らず、微妙な風合いの色を表現することができる。

ポスターには、強いメッセージが込められている。しかしポスターを真剣に鑑賞し読み取ろうとする人は少ない。それは、ポスターは消費されるものであるという考えや、ポスターを軽視する日本の現状によるものであろう。また、「読み取る」ことが必要な芸術作品よりも、情報を「与え」てくれる映像やアニメーションの方が接しやすいのかもしれない。しかし「与え」られることばかりしてきた人間は「考える」ことを忘れ、人の意見を鵜呑みにすることしかできなくなると、秋山館長は警鐘を鳴らす。どうか立ち止まって、ポスターの前で「声なき声」に耳を傾けてみてほしい。そこには多くの言葉が満ちているはずである。(APM公式ホームページより抜粋)

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2013-08-10

# APM news 087

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2013年8月号 vol.151

メッセージイラストレーションポスター

### 「声なき声を聞く」秋山孝ポスター展5



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

## 秋山孝長岡コレクション 134

長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展

<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長

1952年長岡市生まれ。上組小学校、宮内中学校、長岡商業高等学校、多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE+HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞する。他、各国のビエンナーレにおいて多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランドで国際ポスター展の審査員として招聘される。著書に「キャラクターコミュニケーション入門」(角川書店)「Chinese Posters」(朝日新聞出版)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡  
<http://apm-nagaoka.com/>



[Title] ----- メッセージイラストレーションポスター  
「声なき声を聞く」秋山孝ポスター展5  
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)  
[Technique] --- Offset printing  
[Date] ----- 2013  
[Client] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡  
[Category] ---- 文化  
[Ideal] ----- 何も語らない岩石があるとき囁いてくるような錯覚にとらわれ、「声なき声」が聞こえてくる。誰もが感じるところだ。



メッセージイラストレーションポスター十四選  
「声なき声を聞く」秋山孝ポスター展5

7月6日(土)～9月23日(月) 秋山孝ポスター美術館長岡  
Tel, Fax : 0258-39-1233 E-mail : [info@apm-nagaoka.com](mailto:info@apm-nagaoka.com)

OPEN

「声なき声を聞く」秋山孝ポスター展5は、2013年7月6日から9月23日までAPMで行なわれている。ポスターを見る時にポスターの中にあるメッセージを読み取り、「声なき声を聞く」感覚が重要だ。今回の企画は、そこに焦点を当てた。ポスターは街の中に貼られたり至る所に登場するが、ポスター展示状況が決してよいとは限らない。展示が終われば、ほとんどのポスターは焼却され、ゴミ箱の中に捨てられるのが現実だ。しかし今になって、貴重な視覚芸術として美術館にコレクションされるようになった。今回のポスターデザインは、何も語らない岩石があるとき囁いてくるような錯覚にとらわれ、「声なき声」が聞こえてくる。誰もが感じるところだ。



(上) 美術館大学講演風景/秋山孝  
(下) 授業風景/Illustration Studies

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagasaki

2013-08-15

# APM news 088

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)

### 長岡造形大学 「博物館実習」 in APM

実習者：海津紗弥香、杉山沙織、須佐葉月、鈴木智里、堀内まりえ

実習期間：6月17日(月)～6月21日(金)、7月1日(月)～7月7日(日) 計10日間 ※6月18日、7月2日休館

実習時間：am11:00～pm5:00 ※変則日あり



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233



今年度も長岡造形大学より依頼を受け、学芸員資格過程における博物館実習を行った。今回は過去最多の5名の実習生を受け入れた。実習内容は、作品の取り扱いや展示準備を中心に、日常業務など多岐に渡る業務を実践的に学ばせた。

現在APMでは、所蔵作品の整理作業を行っている最中である。実習生にも作品の分類、保管を体験させた。当館コレクションはポスターが大部分を占める。紙一枚というとてもデリケートな作品の取り扱いには苦勞しているようであった。普段の生活には無い独特の緊張感を感じたことであろう。また、第14回企画展開催までの準備及び初日のイベント対応までを体験させた。内容は、展示作品の額入れ作業、展示作業の見学、広報活動、教育普及活動などである。初日に行われたワークショップ、美術館大学、懇親会でもスタッフの一員として動いた。サポーターズ倶楽部会員や参加者と直に接する事により、APMの存在意義や学芸員という職業に対してのやりがいや喜びを感じたようだ。更に、APMは4周年を迎えた為、記念スタンプを作成する課題を与えた。2組に分かれ、デザインを考え、自身で専用のゴム版を彫って作る。出来上がったスタンプは紙ナプキンに押し、箸袋にも当館のシンボルマークのスタンプを押し懇親会で使用した。サプライズの演出に秋山館長をはじめ、参加者の皆様に喜んでいただいた。

期間中には、当館学芸員のたかだか学芸員の仕事について講じた。最終日には、秋山館長(多摩美術大学教授)、関根慎一氏(多摩美術大学講師)、末房志野氏(東京工科大学講師)、御法川哲郎氏(長岡造形大学准教授)に講義をしていただいた。日本の美術館の現状、存在意義、世界の美術館の事例、APMの活動経緯などについてお話いただいた。実習生・海津さんの「APMは人の集まる場所だと感じた」という意見を受け、秋山館長はAPMの今後の展望について語られた。実習生にとって慣れない実習内容に、当初は戸惑いや不安が見受けられたが、実習が進むにつれ、意識が変わり、責任感も生まれていったようだ。これから彼女たちは社会に出て行くわけだが、この実習で学んだことを活かし、多に活躍していただきたい。(たかだみつみ・APM学芸員)

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2013-08-25

# APM news 089

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館（旧北越銀行宮内支店）



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

第21回美術館大学 8月3日(土) pm 1:00~2:30/受講者:63名/講師:秋山孝

## 第1部 「秋山孝 自作を語る3」



秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) では、毎年長岡花火の打ち上げられる8月3日にも美術館大学を開催している。今回は、APMの秋山館長による「秋山孝 自作を語る3」と、長岡造形大学教授・平山育男氏による「我 斯く 建築に向かう」の2部構成という豪華な講演会となった。

秋山館長は自作の解説を通じ、作品を作る力の秘訣を語った。それは「情熱」と「習慣力」である。情熱は秋山館長の創作のためにはなくてはならない力である。例えば2010年に秋山館長が制作した立体作品「100年の風」は、新潟県立長岡商業高等学校の創立100年を記念したモニュメントである。商業高校なのでそろばんの玉を模したデザインを考えた。このモニュメントを制作する際、何度も壁にぶつかったが、そのたびに仲間や専門家の協力を得て不可能を可能にしてきた。それは、自分ひとりでも実現するという強い情熱と、その情熱を理解し協力してくれた人の情熱が集まって実現に至ったのだと、秋山館長は語った。

もうひとつの力、習慣力は少ない努力で最大の力を発揮する、効果的な方法であると秋山館長は言う。我々人間は、日常生活の4割を習慣で動いている。秋山館長はその4割の習慣の中に、創作を組み込むことで年間約20点ものポスター作品を生み出すことができるのだと語った。大きな仕事を一度に行おうとすると、多大な労力が必要になる上、必ずどこかにミスが出てくる。それならば毎年、毎月、毎週、毎日、習慣的に少しずつ行えば、労力は少なく正確なものができるのである。こうして「情熱」と「習慣力」を駆使して作り上げた作品ひとつひとつには、強いメッセージが込められている。作品の前に立って、今回の展覧会のテーマでもある「声なき声」を受け取ってほしいと秋山館長は講演を結んだ。

(APM公式ホームページより抜粋)



Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2013-08-25

# APM news 090

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

第21回美術館大学 8月3日(土) pm 3:00~4:30/受講者:63名/講師:平山育男

### 第2部 「我 斯く 建築に向かう」



第2部の平山氏の講演は、APM、配水塔、機那サフラン酒本舗の建物の3つについて解説していただいた。APMを始めこれらの建造物はすべて平山氏が調査し、歴史的建造物であると証明したものである。

APMは1925年に建てられた長岡商業銀行(現・北越銀行)宮内支店の建物を、2009年に美術館としてリノベーションしたものである。しかし建物は建設当初のままAPMに引き継がれたわけではない。1952年には道路拡幅のため曳家、同年本館の改造、1970年田上商店倉庫としての改装と、APMになるまでに4度の改装が行われた。調査にあたり、あるときは屋根裏の壁に残った蔦のあとから痕跡を見つけ、またあるときは当時の新聞をあたり、探偵さながらに証拠を見つけていく作業が続く。その証拠が集まっていくと、ようやくAPMの歴史的建造物としての姿が現れてくる。その時代の中でAPMがどのような存在だったか、価値が分かってくるのである。

配水塔についての講義は特に興味深い。戦前、新潟県内には7基もの配水塔があった。これは東京都、大阪府の8基に次ぐ数字であり、なぜ大都市とも言いがたい新潟に、これほど多くの配水塔が設置されたのであろうか。それは新潟には越後平野という広大な平野があったためである。平野部で安定した給水を維持するためには十分な水圧が必要となる。そのため巨大なタンクを高所に設置し圧力を加え、水を遠方まで運べるようにしたものが配水塔である。よって、新潟県内には多くの配水塔が設置された。配水塔を保存する際、予備発電機室は取り壊していいのではないかという意見もあったが、災害時、停電になっても消火できるだけの水を維持できる技術の形を残すことは重要であるとし、保存することとなった。

「技術には形があり、形には意味がある」とは平山氏のお言葉である。

サフラン酒本舗の建物は吉澤仁太郎の邸宅である。サフラン酒で財を得た吉澤氏は1894年に摂田屋へ移転、1912年には主屋の増築を行っている。その造形は旧宅部分に増築部分が重なるような特徴的な様式である。サフラン酒本舗の調査を進めるうち、平山氏はサフラン酒本舗と1934年築の朝日酒造・松籟閣が似ているのではないかと考え始めた。そこで調べてみると松籟閣を造った安達工務店は小千谷市片貝にあり、その近所である長岡市浦にサフラン酒本舗の増築を担当した西脇浜吉が住んでいたことが分かった。つまり、安達工務店と西脇浜吉の間で何らかの情報の交換があり、一見関連のない二つの建物が似た様式になったのではないかと平山氏は考えた。様式は地域で生み出され伝承されるのである。

最後に平山氏は、「時代」「技術」「造形」と表示されたスクリーンの前で、時代の要求に応じているか、技術を使っているか、施主に言われるがままの造形になっていないか、これらのことを深く追求し、年月がたっても残るような作品を作りたいと締めくくった。(APM公式ホームページより抜粋)

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2013-09-15

# APM news 091

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2013年9月号 vol.152

### 秋山孝が選んだ30の金言・高田清太郎の建築デザイン哲学展

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

## 秋山孝長岡コレクション 135

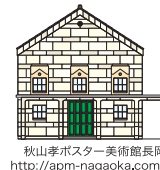
長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展

<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長

1952年長岡市生まれ。上組小学校、宮内中学校、長岡商業高等学校、多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞する。他、各国のビエンナーレにおいて多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランドで国際ポスター展の審査員として招聘される。著書に「キャラクターコミュニケーション入門」(角川書店)「Chinese Posters」(朝日新聞出版)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡  
<http://apm-nagaoka.com/>



2013年4月20日から5月25日の間、「秋山孝が選んだ30の金言・高田清太郎の建築デザイン哲学展」が秋山孝ポスター美術館長岡で開催された。ほくが高田清太郎氏のブログから30の金言を選んだ。その金言からポスターを制作し、金言と図像のポスターの展示となった。一般的には建築家の展示は模型であったり図面であったりするが、今回の展覧会は「高田清太郎の建築デザイン哲学」を導きだすようにしているため、建築物の写真などはさほど多くはない。それよりも、言葉と響き合うようにするため、自然や原点となる写真を選んだ。その選び方は、1.建築、2.建築と雪、3.人生、となっている。ポスターデザインは、モーゼの十戒からアレンジし、天から降りてくるような金言のイメージを作り上げた。

[Title] ----- 30 Golden Sayings  
Seitaro Takada's Architectural Design Philosophy  
秋山孝が選んだ30の金言・高田清太郎の建築デザイン哲学展

[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)

[Technique] --- Offset printing

[Date] ----- 2013

[Client] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡

[Category] --- 文化

[Idea] ----- モーゼの十戒からアレンジし、天から降りてくるような金言のイメージを作り上げた。



(上)美術館大学対談/左:秋山孝、右:高田清太郎  
(下)美術館大学講演風景



メッセージイラストレーションポスター十四選  
「声なき声を聞く」秋山孝ポスター展5

7月6日(土)～9月23日(月) 秋山孝ポスター美術館長岡  
Tel, Fax : 0258-39-1233 E-mail : [info@apm-nagaoka.com](mailto:info@apm-nagaoka.com)

OPEN

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2013-10-30

# APM news 092

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2013年10月号 vol.153

### K11 campus Design Carnival 2013- Design Education High-end Forum



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

## 秋山孝長岡コレクション 136

長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展

<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



**秋山 孝** 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長  
1952年長岡市生まれ。上組小学校、宮内中学校、長岡商業高等学校、多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞する。他、各国のビエンナーレにおいて多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランドで国際ポスター展の審査員として招聘される。著書に「キャラクターコミュニケーション入門」(角川書店)「Chinese Posters」(朝日新聞出版)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡  
<http://apm-nagaoka.com/>



2013年6月9日に、北京・清華大学美術学院で「K11 campus Design Carnival 2013-Design Education High-end Forum」の教育イベントが開催された。精華大学美術学院の馬教授の挨拶から始まり、中国、韓国、日本の、東アジアのデザイン教育に関わる5名の教授によるプレゼンテーションの後、質疑応答が行われた。ぼくは、「デザインと芸術の力」と題し、国際的な活動となった「デザイナーが何を出来るか」というキーワードの地震支援プロジェクト教育の広がり、ポスターの力について講義をした。イベントポスターのデザインは、一艘の船の天空に自在に飛翔する神獣・霊獣である龍の出現をテーマとし、祝いの意味を込めた。

[Title] ----- K11 campus Design Carnival 2013-  
Design Education High-end Forum  
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)  
[Technique] --- Offset printing  
[Date] ----- 2013  
[Client] ----- K11 ART FOUNDATION、北京・清華大学美術学院  
[Category] --- 教育、文化  
[Idea] ----- 一艘の船の天空に自在に飛翔する神獣・霊獣である龍  
の出現をテーマとし、祝いの意味を込めた。

OPEN



多摩美術大学大学院イラストレーションスタジオ  
「メッセージイラストレーションポスター展5」  
10月5日(土)～10月31日(木) 秋山孝ポスター美術館長岡  
Tel, Fax : 0258-39-1233 E-mail : [info@apm-nagaoka.com](mailto:info@apm-nagaoka.com)



(上) プレゼンテーション/左: 秋山孝、右: 呉藝華 (通訳)  
(下) 質疑応答



Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2013-11-05

# APM news 093

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2013年11月号 vol.154

### 自画像-1 Self Portrait-1/Dessin

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

#### 秋山孝長岡コレクション 137

長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展

<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



**秋山 孝** 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長  
1952年長岡市生まれ。上組小学校、宮内中学校、長岡商業高等学校、多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞する。他、各国のビエンナーレにおいて多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランドで国際ポスター展の審査員として招聘される。著書に「キャラクターコミュニケーション入門」(角川書店)「Chinese Posters」(朝日新聞出版)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡  
<http://apm-nagaoka.com/>



2013年4月15日から5月9日まで多摩美術大学のGDプレゼンテーションギャラリーで行なった、「自画像」(1、2年生)の展覧会である。自画像は単に自分の姿を映し出すだけでなく、自分の内面と対話することも重要で、自分の生命の証のようなものである。学生たちはこれらの課題に没頭し、基礎である課題から表現の価値を自ら獲得し、未来に向けての指針を見つけ出そうとしている。学生たちの研究コメントを読むと、アーティストの研究をくまなくするが、時代背景、作品の特徴、表現技法なども理解を深めるために努力をしていることが分かる。今回のポスターのデザインは、作られた猿の雅楽面の表情から自画像へと結びつけ、ユーモラスなイメージを表現した。

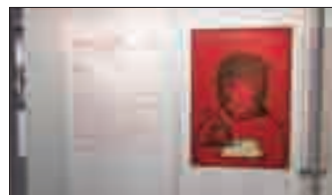
[Title] ----- 自画像-1 Self Portrait-1/Dessin  
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)  
[Technique] --- Offset printing  
[Date] ----- 2013  
[Client] ----- 多摩美術大学デッサンプロジェクト  
[Category] --- 教育  
[Idea] ----- 作られた猿の雅楽面の表情から自画像へと結びつけ、ユーモラスなイメージを表現した。

CLOSE



秋山孝ポスター美術館長岡 現在、冬期休館中です。

春4月19日(土)より、「宮内・撰田屋百景」展が始まります。  
Tel, Fax : 0258-39-1233 E-mail : [info@apm-nagaoka.com](mailto:info@apm-nagaoka.com)



(上)「自画像-1 Self Portrait-1/Dessin」/展覧会パナー  
(下)「自画像-1 Self Portrait-1/Dessin」/会場風景

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2013-11-10

# APM news 094

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

第22回美術館大学 10月5日(土) pm 3:00~4:30/受講者:51名

「東京装画賞について」 講師:末房志野、御法川哲郎、秋山孝



第22回美術館大学の題目は、「東京装画賞について」である。東京装画賞とは、昨年2012年から開催されている世界で唯一のブックジャケットのコンペティションである。各人がそれぞれの装丁・装画を表現できるコンペティションで、昨年は1283点もの応募があった。今回の美術館大学では、東京装画賞・審査委員長の秋山孝館長、実行委員長・末房志野氏、実行委員・御法川哲郎氏の3名に鼎談していただいた。

まず、秋山館長より東京装画賞の意義についてお話いただいた。ブックジャケットの機能としては、本を汚れや衝撃から守る機能と、本の内容を図像と文字で視覚的に伝える機能の二つが挙げられる。特に後者は、著者の思いや考え、言葉にならないイメージ、メッセージをビジュアルで一瞬のうちに伝える、重要な役割である。このブックジャケットのコンペティションを開催することは、上質なブックジャケットの提供を社会に促すことにつながり、図書文化に貢献できると考えているという。会場には東京装画賞の受賞者も大勢参加しており、受賞作について説明していただいた。2012年に「銀河鉄道の夜」を描き、学生部門金の本賞を受賞した内山咲子さんは、「死を連想させる作品なので寂しい感じを出した」、「幻想的で美しいものとなるよう描いた」とこだわった点を説明した。

末房氏からは審査についてのお話を聞かせていただいた。第1回目である2012年は審査がだいぶ難航したという。それは、審査の基準がデザイナーとイラストレーターでは異なったためである。デザイナーはレイアウトやタイポグラフィを重視し、イラストレーターは図像を評価したことが原因である。また、写真がイラストレーションと言えるかどうかという議論も起こり、審査は白熱したものになったという。そういった厳しい審査の中から、272点の作品が見出された。また審査において、作品の中で誤植があったものは、どんなにデザイン、イラストが優れていても落選とした。御法川氏はこのコンペティションについて、人の意見に左右されず自分の意思を表現することのできるコンペティションであり、特に学生にとっては自分を思い切り出すことができるよい機会であると述べた。

上質な文字と上質なイラストレーションは大きな力を持っている。日本では、江戸時代、歌川国貞の「お染久松色説販」に始まり、明治から昭和にかけて活躍した小村雪岱、杉浦非水、竹久夢二など素晴らしい装丁・装画家が存在した。この伝統を引き継ぎ、これからもこの「東京装画賞」で日本独自の装丁・装画の美を発信していきたいと秋山館長は述べた。

(APM公式ホームページより抜粋)

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2013-11-15

# APM news 095

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)

上組小学校 こだま美術館 第31回企画展

「地域に感謝 未来に翔(は)ばたけ 秋山孝ポスター美術展」関連企画

### 「小学生美術館大学」

10月25日(金) am 10:00 ~ 11:00  
受講者: 102名 / 講師: 秋山孝



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233



10月25日(金)、秋山孝ポスター美術館長岡(APM)では長岡市立上組小学校6年生を招待し、小学生美術館大学を開催した。上組小学校で10月25日(金)～11月1日(金)に開催されたこだま美術館・第31回企画展「地域に感謝 未来に翔(は)ばたけ 秋山孝ポスター美術展」に合わせた企画である。こだま美術館とは、上組小学校が総合的な学習の時間で行っている美術館の企画・運営を通した取り組みである。児童たちがプロジェクトの企画・運営を通して、「主体的、創造的、協同的に取り組む態度を向上させていくこと」、「地域の人やもの、こととのふれあいを通して地域とつながり、生き方を考えていくこと」を目標として行われてきた。教室のひとつを「こだま美術館」と名づけ、1999年から30回もの企画展が開催された。小学生美術館大学は、上組小6年生の質問を受けるところから始まった。「ポスターを作るとき、迷ったりしませんか」という質問に対しては、「とても迷います。悩みます」と答え、1988年制作の「Peace Face」を紹介した。「Peace Face」は、「平和」をテーマとした展覧会に出品した作品で、制作する際に平和とは何かを幾日も考えたという。考え抜いた結論として出した答えは、平和とは一瞬でしかない、というものであった。特別な日や恒常的なものではなく、日常の中に潜む一瞬の平和こそが、真の平和であると答えを出した。そこで秋山館長は夜空に作られる一瞬を描き、「Peace Face」と名づけた。今回こだま美術館で開催された「秋山孝ポスター美術展」では、14点のポスター作品が展示された。これらの作品は上組小6年生が「地域」「未来」というテーマに沿って選んだものである。6年生は小学生美術館大学で、自分たちが選んだ作品の解説を作家本人から聞き、さらに理解を深めた。

実は、秋山館長がこだま美術館に関わるのは今回が初めてではない。2000年に「上組こだま美術館・秋山孝と子どもたち展」を長岡市立中央図書館ギャラリーで行っている。そのときの小学生も成人し、今はそれぞれの道を歩いていることだろう。秋山館長の講演を覚えている児童もいるかもしれない。秋山館長自身、学生時代に影響を受けた先生方がたくさんいる。「ぼくはぼくであって、ぼくではない」。そう語る秋山館長は、小学校、中学校、高校、大学の先生、そして家族、友人、仲間、大勢の影響を受けて、今の自分があるのだと上組小6年生に向けて説明した。今回の小学生美術館大学が、こだま美術館での展示が、将来の彼らを形作る一部となるであろう。(APM公式ホームページより抜粋)



Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2013-12-20

# APM news 096

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2013年12月号 vol.155  
第2回 東京装画賞2013

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

### 秋山孝長岡コレクション 138

長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展  
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長  
1952年長岡市生まれ。上組小学校、宮内中学校、長岡商業高等学校、多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞する。他、各国のビエンナーレにおいて多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランドで国際ポスター展の審査員として招聘される。著書に「Chinese Posters」(朝日新聞出版)、「イラストレーションスタディーズ」(玄光社)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡  
<http://apm-nagaoka.com/>



東京装画賞の第2回展が2013年10月12日から26日まで山脇ギャラリーで開催された。ブックジャケットのコンペティションである。1200点を越える応募があり、厳正なる審査の結果230点が選ばれ、受賞作を含め会場に展示された。課題図書は、芥川龍之介「蜘蛛の糸」、太宰治「人間失格」、カフカ「変身」、ルイス・キャロル「不思議のアリス」など計6点で、装画(イラストレーション)を中心としたジャケットデザインを制作するユニークな試みだ。ポスターデザインは、イーゼルに本を描いたキャンバスと装画のない本が配置されている。それほど大きくないブックジャケットのスペースに斬新で感動的なビジュアルメッセージ表現をする。創作者の能力が問われる魅力的な世界を表した。



(上) 第2回 東京装画賞2013/会場風景  
(下) 第2回 東京装画賞2013/審査員集合写真

[Title] ----- 第2回 東京装画賞2013  
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)  
[Technique] --- Offset printing  
[Date] ----- 2013  
[Client] ----- 日本図書設計家協会 東京装画賞実行委員会  
[Category] --- 文化  
[Idea] ----- イーゼルに本を描いたキャンバスと装画のない本が配置されている。創作者の能力が問われる魅力魅力的な世界を表した。



秋山孝ポスター美術館長岡 現在、冬期休館中です。

春4月19日(土)より、「宮内・撰田屋百景」展が始まります。  
Tel, Fax : 0258-39-1233 E-mail : [info@apm-nagaoka.com](mailto:info@apm-nagaoka.com)

CLOSE

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2014-01-05

# APM news 097

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2014年1月号 vol.156

## 地震 Fukushima Lesson - Earthquake Japan

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

### 秋山孝長岡コレクション 139

長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展

<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>

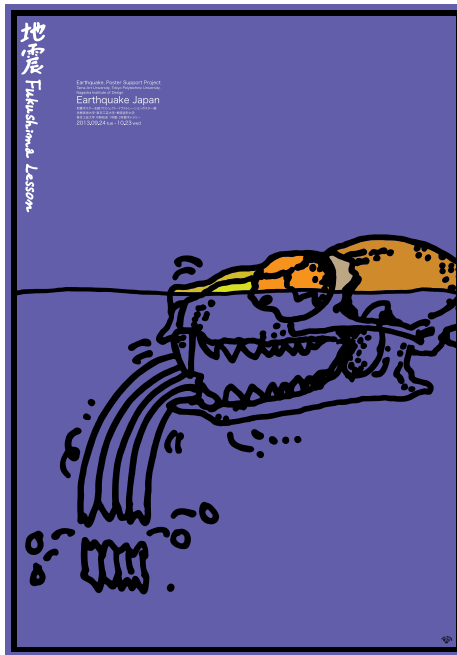


秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長

1952年長岡市生まれ。上組小学校、宮内中学校、長岡商業高等学校、多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞する。他、各国のビエンナーレにおいて多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランドで国際ポスター展の審査員として招聘される。著書に「Chinese Posters」(朝日新聞出版)、「イラストレーションスタディーズ」(玄光社)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡  
<http://apm-nagaoka.com/>



地震ポスター支援プロジェクトは、今年で10年目を迎えた。災害支援においてデザイナーのできることは何かということから、ポスターの力を使い災害を忘れず記録することを目的にスタートした。継続的に展覧会を行うことによって、地震の知識や問題点を理解することになった。継続は、このような解決困難な問題に対しては有効な方法だと実感している。地震の問題は1次災害、2次、3次、4次災害へと連鎖して起こることが良くわかった。特に原発の問題は大きい。今回のポスターデザインの表現は、放射能汚染水の垂れ流し問題を取り上げた。悪魔の口から出てくる恐ろしさをビジュアル化した。

[Title] ----- 地震 Fukushima Lesson - Earthquake Japan

[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)

[Technique] --- Offset printing

[Date] ----- 2013

[Client] ----- 多摩美術大学イラストレーションスタディーズ

[Category] --- 社会、教育

[Idea] ----- 放射能汚染水の垂れ流し問題を取り上げた。悪魔の口から出てくる恐ろしさをビジュアル化した。

CLOSE



秋山孝ポスター美術館長岡 現在、冬期休館中です。

春4月19日(土)より、「宮内・撰田屋百景」展が始まります。  
Tel. Fax : 0258-39-1233 E-mail : [info@apm-nagaoka.com](mailto:info@apm-nagaoka.com)



(上)地震ポスター支援プロジェクト/東京工芸大学 中野校舎/講義  
(下)地震ポスター支援プロジェクト/東京工芸大学 中野校舎/作品講評会

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2014-03-05

# APM news 098

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2014年2月号 vol.157

15th Anniversary, Illustration Studies 1998-2013,  
Student Conference



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

### 秋山孝長岡コレクション 140

長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展  
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



**秋山 孝** 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長  
1952年長岡市生まれ。上組小学校、宮内中学校、長岡商業高等学校、多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞する。他、各国のビエンナーレにおいて多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランドで国際ポスター展の審査員として招聘される。著書に「Chinese Posters」(朝日新聞出版)、「イラストレーションスタディーズ」(玄光社)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡  
<http://apm-nagaoka.com/>



[Title] ----- 15th Anniversary, Illustration Studies 1998-2013, Student Conference  
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)  
[Technique] --- Offset printing  
[Date] ----- 2013  
[Client] ----- 多摩美術大学イラストレーションスタディーズ  
[Category] --- 教育  
[Idea] ----- アーティストが歩きながら後を振り返るシーンを描いた。手には筆とキャンバスを持ち、創作と研究を象徴化した。

多摩美術大学グラフィックデザイン学科イラストレーションスタディーズは、1998年にスタートし、15周年を迎えた。そこで15周年を記念して「15年を振り返る」というテーマでスチューデントコンファレンスを行なった。研究冊子「Illustration Studies」は、今回で61冊まで到達した。またそれを記念し、目録も発行した。第1部は大学院生のプレゼンテーションから始まり、第2部では15年間の研究成果やコンファレンスの歴史などを振り返り、今後の指針を確認した。このためのポスターデザインは、アーティストが歩きながら後を振り返るシーンを描いた。手には筆とキャンバスを持ち、創作と研究を象徴化した。



(上) スチューデントコンファレンス/多摩美術大学 八王子校舎/会場風景  
(下) スチューデントコンファレンス/大学院生プレゼンテーション



秋山孝ポスター美術館長岡 現在、冬期休館中です。

CLOSE

春4月19日(土)より、「宮内・撰田屋百景」展が始まります。  
Tel, Fax : 0258-39-1233 E-mail : [info@apm-nagaoka.com](mailto:info@apm-nagaoka.com)

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2014-03-15

# APM news 099

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2014年3月号 vol.158

## 5. Message Illustration Poster in Nagaoka

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

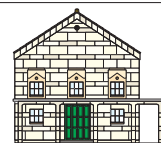
### 秋山孝長岡コレクション 141

長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展

<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



**秋山 孝** 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長  
1952年長岡市生まれ。上組小学校、宮内中学校、長岡商業高等学校、多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞する。他、各国のビエンナーレにおいて多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランドで国際ポスター展の審査員として招聘される。著書に「Chinese Posters」(朝日新聞出版)、「イラストレーションスタディーズ」(玄光社)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡  
<http://apm-nagaoka.com/>



秋山孝ポスター美術館長岡(APM)のコンセプトに教育がある。それを実現するためにさまざまな企画をたてている。その一つが、多摩美術大学・大学院生の「メッセージ・イラストレーション・ポスター」だ。5回目の展覧会になる。継続は、かならず魅力的な発見がある。思考形成にはそれが必要不可欠だ。今回のポスターデザインは、海中の環境世界で生きるタコをモチーフにした。不思議な軟体動物のタコにも生命体としてのコミュニケーションやそこから出てくるメッセージがある。人間であるぼくたちは、その声を聞き取る能力が求められている。どんな内容なのだろうか。疑問を感じ、とても哲学的で神秘的興味としてそそられるのだ。

[Title] ----- 5. Message Illustration Poster in Nagaoka  
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)  
[Technique] --- Offset printing  
[Date] ----- 2013  
[Client] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡  
[Category] --- 教育  
[Idea] ----- 海中の環境世界で生きるタコをモチーフにした。不思議な軟体動物のタコにも生命体としてのコミュニケーションやそこから出てくるメッセージがある。



秋山孝ポスター美術館長岡 現在、冬期休館中です。

春4月19日(土)より、「宮内・撰田屋百景」展が始まります。  
Tel, Fax : 0258-39-1233 E-mail : [info@apm-nagaoka.com](mailto:info@apm-nagaoka.com)

CLOSE



(上) 美術館大学講演風景 / (左から) 秋山孝、末房志野、御法川哲郎  
(下) APM課外授業風景 / Illustration Studies

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2014-03-20

# APM news 100

## 秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)

長岡市立上組小学校、  
秋山孝ポスター美術館長岡連携展覧会 2月22日(土) am 10:00~pm 3:00/入館者: 74名

### 「ありがとうアート ~わたしのまち~」



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8  
TEL 0258-39-1233



「ありがとうアート~わたしのまち~」は、「わたしのまち」と「感謝の木」の二つから構成された。「わたしのまち」は6年生が心に残る場所や地域の様子を絵に描いたもので、すでに上組小・芸術祭で校内に展示しているが、地域の人々に見てほしいとの思いからAPMと連携し展示に至った。6年生の作品はAPMで所蔵するポスター作品と同様に丁寧に扱い、額に入れて展示した。「感謝の木」は風鈴展で使用したツリーに、地域と学校への感謝の気持ちを書いた短冊を飾った。風鈴展は今まで夏と秋に行っており、6年生にとって懐かしい、思い出のツリーである。

当日は開館時間の10時を少し過ぎた頃から来館者がやってきた。6年生が家族を連れて案内したり、友人どうして来館したり、離れて暮らしているおばあさんが孫からの電話を受けて訪れたり。中には、来年こども美術館の企画・運営を行う立場の5年生もおり、じっと作品を眺めている姿が印象的であった。6年生は、美術館という公の空間に展示された自分の作品を見て、何を感じたのだろうか。人は作品にメッセージや思いを込めて制作する。6年生の制作した作品にも、様々な思いやエピソードがあるだろう。その場所、その時間を選んだ理由、その色を使った理由。それぞれに思いをはせ、意見を交換しながら見ていくと、そこには深い理解がある。日本の美術教育において、鑑賞は軽視されている。それは、「日本において鑑賞教育は美術を言語で教えるという知識教育に繋がり、情操教育とはみなされていないから」(※1)である。しかし鑑賞には様々な能力を育む力がある。たとえば近年評価されている対話型鑑賞は、作品について意見を交換し合い、話し合いながら作品への理解を深めていく手法である。相手の意見を受け止め理解する力、自分の意見を正確に伝える力。どちらも相手と正しくコミュニケーションするために考え、言葉を選んでいかななくてはならない。また作品を理解するためには、描かれているものをよく見ることも必要となる。

2009年、上組小とAPMで行った「あなたならどう読む?ポスターに込められたメッセージ」はまさにこの考えさせる鑑賞授業であった。ポスターという明快なメッセージの込められたイラストレーションから本質を読み取り、作者の意図を知る。APMの目指す美術館の姿と重なる教育がそこにはあった。これからもAPMは美術教育の発展のために、地域と協力して子どもたちの未来に貢献していきたい。

(APM公式ホームページより抜粋) ※1 参考資料: 秋山文「美術と教育」





多摩美術大学大学院イラストレーションズスタジオ  
「メッセージイラストレーションポスター展5」  
会期：10月5日(土)～10月31日(木)



第5回APMワークショップ「多色刷木版画」  
**メッセージイラストレーションポスター展5**  
Tama Art University Illustration Studies  
5. Message Illustration Poster in Nagasaki  
2013.10.05am-10.31pm

秋山孝ボスター美術館長 長岡 真由子

多色刷木版画ワークショップの開催は、多色刷木版画の魅力を伝えることと、多色刷木版画の発展に貢献することを目的としています。

長岡は、多色刷木版画の魅力を伝えることと、多色刷木版画の発展に貢献することを目的としています。

秋山孝ボスター美術館長 長岡 真由子

〒226-8503 東京都立川市三軒分譲 1-10-13 秋山孝ボスター美術館長 長岡 真由子  
TEL:0426-34-0033 FAX:0426-34-0034  
http://www.apm-workshop.com

[ ワークショップ News ]

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagasaki 2013-08-12  
**APM 秋山孝ボスター美術館 長岡**  
歴史的背景・多色刷木版画の魅力を伝えるワークショップ

**第1回APMワークショップ**  
**「多色刷木版画でポストカードをつくらう」**

日時: 2013年8月12日(日) 10:00～12:00  
会場: 秋山孝ボスター美術館 (長岡 真由子 主催)

秋山孝ボスター美術館 (長岡 真由子 主催) のワークショップは、多色刷木版画の魅力を伝えることと、多色刷木版画の発展に貢献することを目的としています。

秋山孝ボスター美術館 (長岡 真由子 主催) のワークショップは、多色刷木版画の魅力を伝えることと、多色刷木版画の発展に貢献することを目的としています。

多色刷木版画の魅力を伝えることと、多色刷木版画の発展に貢献することを目的としています。

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagasaki 2013-08-06  
**APM 秋山孝ボスター美術館 長岡**  
歴史的背景・多色刷木版画の魅力を伝えるワークショップ

**第2回APMワークショップ**  
**「ステンシルでオリジナルうちわ作り」**

日時: 2013年8月6日(日) 10:00～12:00  
会場: 秋山孝ボスター美術館 (長岡 真由子 主催)

秋山孝ボスター美術館 (長岡 真由子 主催) のワークショップは、多色刷木版画の魅力を伝えることと、多色刷木版画の発展に貢献することを目的としています。

秋山孝ボスター美術館 (長岡 真由子 主催) のワークショップは、多色刷木版画の魅力を伝えることと、多色刷木版画の発展に貢献することを目的としています。

秋山孝ボスター美術館 (長岡 真由子 主催) のワークショップは、多色刷木版画の魅力を伝えることと、多色刷木版画の発展に貢献することを目的としています。

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagasaki 2013-01-02  
**APM 秋山孝ボスター美術館 長岡**  
歴史的背景・多色刷木版画の魅力を伝えるワークショップ

**第3回APMワークショップ**  
**「機那サフラン酒本舗絵柄 蔵書票をつくらう」**

日時: 2013年1月2日(日) 10:00～12:00  
会場: 秋山孝ボスター美術館 (長岡 真由子 主催)

秋山孝ボスター美術館 (長岡 真由子 主催) のワークショップは、多色刷木版画の魅力を伝えることと、多色刷木版画の発展に貢献することを目的としています。

秋山孝ボスター美術館 (長岡 真由子 主催) のワークショップは、多色刷木版画の魅力を伝えることと、多色刷木版画の発展に貢献することを目的としています。

秋山孝ボスター美術館 (長岡 真由子 主催) のワークショップは、多色刷木版画の魅力を伝えることと、多色刷木版画の発展に貢献することを目的としています。

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagasaki 2013-11-02  
**APM 秋山孝ボスター美術館 長岡**  
歴史的背景・多色刷木版画の魅力を伝えるワークショップ

**第4回APMワークショップ**  
**「APMハロウィン仮装パーティー!!!」**

日時: 2013年11月2日(日) 10:00～12:00  
会場: 秋山孝ボスター美術館 (長岡 真由子 主催)

秋山孝ボスター美術館 (長岡 真由子 主催) のワークショップは、多色刷木版画の魅力を伝えることと、多色刷木版画の発展に貢献することを目的としています。

秋山孝ボスター美術館 (長岡 真由子 主催) のワークショップは、多色刷木版画の魅力を伝えることと、多色刷木版画の発展に貢献することを目的としています。

秋山孝ボスター美術館 (長岡 真由子 主催) のワークショップは、多色刷木版画の魅力を伝えることと、多色刷木版画の発展に貢献することを目的としています。

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagasaki 2013-12-06  
**APM 秋山孝ボスター美術館 長岡**  
歴史的背景・多色刷木版画の魅力を伝えるワークショップ

**第5回APMワークショップ**  
**「美術館をクリスマスデコレーション」**

日時: 2013年12月6日(日) 10:00～12:00  
会場: 秋山孝ボスター美術館 (長岡 真由子 主催)

秋山孝ボスター美術館 (長岡 真由子 主催) のワークショップは、多色刷木版画の魅力を伝えることと、多色刷木版画の発展に貢献することを目的としています。

秋山孝ボスター美術館 (長岡 真由子 主催) のワークショップは、多色刷木版画の魅力を伝えることと、多色刷木版画の発展に貢献することを目的としています。

秋山孝ボスター美術館 (長岡 真由子 主催) のワークショップは、多色刷木版画の魅力を伝えることと、多色刷木版画の発展に貢献することを目的としています。

2013年度 APMワークショップリスト

- 第1回APMワークショップ  
7月6日(土)pm1:00～2:30/APM蔵  
「多色刷木版画でポストカードをつくらう！」
- 第2回APMワークショップ  
8月22日(木)pm1:00～5:00/APM  
「ステンシルでオリジナルうちわ作り」  
8月24日(土)～29日(木)pm1:00～5:00/APM  
「夏休みFinalワークショップ祭り」
- 第3回APMワークショップ  
10月5日(土)am1:00～pm2:45/APM, APM蔵  
「機那サフラン酒本舗絵柄 蔵書票をつくらう」
- 第4回APMワークショップ  
10月19日(土)pm1:00～4:00/APM, APM蔵, 宮内商店街  
「APMハロウィン仮装パーティー!!!」
- 第5回APMワークショップ  
2月15日(日)pm1:30～4:00/APM  
「美術館をクリスマスデコレーション！」

[ APM掲載記事 ]



「My Skip」 2013年5月1日



「まるごと生活情報」 2013年7月13日



「建築ジャーナル」 2013年4月1日

2013年度 APM記事リスト

- 2013.04.01 / ナジラビ / 告知
- 2013.04.01 / 建築ジャーナル / 記事
- 2013.04.11 / n-assh / 表紙、告知
- 2013.04.19 / 新潟日報 / 告知
- 2013.05.01 / My Skip / 記事
- 2013.05.23 / n-assh / 告知
- 2013.06.01 / ナジラビ / 告知
- 2013.06.01 / 新潟日報 / 告知
- 2013.06.07 / 新潟Week! / 告知
- 2013.06.28 / 新潟日報 / 告知
- 2013.07.05 / 新潟日報 / 告知
- 2013.07.11 / 新潟日報 / 記事
- 2013.07.13 / まるごと生活情報 / 記事
- 2013.07.19 / 新潟Week! / 告知
- 2013.07.25 / 新潟Komachi / 告知
- 2013.08.01 / ナジラビ / 告知
- 2013.10.04 / 新潟Week! / 告知
- 2013.10.30 / 新潟日報 / 記事
- 2013.12.01 / My Skip / 記事
- 2014.01.26 / 新潟日報 / 記事
- 2014.02.01 / コミュニティ広報紙みやうち / 記事

## [ APM事業活動記録 ]

### 2009年度 (2009.4~2010.3)

- 7.11.sat / APM開館
- 7.12.sun-10.9.fri / 第1回企画展「秋山孝ポスター展」
- 7.12.sun / 第1回美術館大学「自作を語る」/ 講師: 秋山孝
- 8.1.sat / 第2回美術館大学「理解者を求めて」/ 講師: 秋山孝
- 9.4.fri / 第1回APM課外授業「見学 in APM」/ 新潟デザイン専門学校生
- 9.4.fri / 第3回美術館大学「建築構造の美1」/ 講師: 斎藤公男、秋山孝 / 受講者: 35名
- 10.12.mon-10.31.sat / 第2回企画展「メッセージイラストレーションポスター展」
- 10.12.mon / 第2回APM課外授業「メッセージイラストレーションポスター展 講習会」/ 多摩美大学院生・卒業生 / 講師: 秋山孝 / 参加者: 7名
- 10.13.tue / 第3回APM課外授業「APMとは」/ 美術館大学・特別講義 / 講師: 秋山孝 / 参加者: 17名
- 10.17.sat / 第4回美術館大学「プランニングと創作活動の情熱」/ 講師: 牧野圭一、秋山孝 / 受講者: 36名
- 12.18.fri, 21.mon / 第4回APM課外授業「あなたならどう読む? ポスターにこめられたメッセージ」/ 教職12年経験者研修 教科別研修3「図画工作」/ 上組小6年生 / 指導教諭: 金澤健志
- 1.25.mon / 第3回長岡市都市景観賞「守る」部門受賞



2009.7.11.sat / APM開館 テープカット



2009.7.12.sun-10.9.fri / 第1回企画展「秋山孝ポスター展」



2010.5.1.sat / 第5回美術館大学「秋山孝 中国ポスターを語る」



2010.8.2.mon / 第7回美術館大学「中越大地震と創造的復興+APMリノベーション」

### 2010年度 (2010.4~2011.3)

- 4.11.sun / 2010年度運営委員会、サポーターズ倶楽部役員会合同会議
- 4.16.fri-6.30.wed / 第3回企画展 秋山孝ポスターコレクション研究1「中国ポスター展」
- 5.1.sat / 第5回美術館大学「秋山孝 中国ポスターを語る」/ 講師: 秋山孝 / 受講者: 30名
- 7.10.sat-9.23.thu / 第4回企画展「秋山孝ポスター展2」
- 7.10.sat / 第6回美術館大学「秋山孝 自作を語る」/ 講師: 秋山孝 / 受講者: 65名
- 7.10.sat / APM1周年記念懇親会
- 7.21.wed / 第5回APM課外授業「町探検 in APM / 秋山孝ポスター展2」/ 上組小2年生 / 指導教諭: 柳宏美 / 参加者: 36名
- 8.2.mon / 第7回美術館大学「中越大地震と創造的復興+APMリノベーション」/ 講師: 渡辺斉、高田清太郎、秋山孝 / 受講者: 45名
- 8.19.tue / ホクゲン宮内支店90周年記念講演会「APMの魅力」/ 講師: 秋山孝 / 受講者: 45名
- 9.29.wed / 第6回APM課外授業「見学 in APM」/ 長岡市立石坂小学校 / 参加者: 7名
- 10.2.sat / 第8回美術館大学「長岡市立上組小学校美術館大学 教育・美・感動」/ 講師: 池上秀敏、金澤健志、水谷徹平、秋山孝 / 受講者: 48名
- 10.3.sun-10.31.sun / 第5回企画展「メッセージイラストレーションポスター展2」
- 10.27.wed / 第7回APM課外授業「鑑賞授業 in APM」/ 上組小6年生 / 指導教諭: 金澤健志 / 参加者: 約90名
- 11.23.tue / ギター演奏会 (島山ギター教室「2010 ぎたあ 吉他 Guitar」) / 演奏・講師: 島山徳雄
- 12.8.wed / 第9回美術館大学「テンスグリックタワー」/ 「100年の風・リブチの月」講師: 秋山孝、「私にとっての構造デザイン」講師: 斎藤公男 / 受講者: 57名

### 2011年度 (2011.4~2012.3)

- 4.16.sat / 2011年度運営委員会、サポーターズ倶楽部役員会合同会議
- 4.16.sat-6.30.thu / 第6回企画展 秋山孝ポスターコレクション研究2「Voices in Freedom 展」 in 長岡
- 4.16.sat / 第10回美術館大学「メキシコのポスター世界」/ 講師: U.G. サトー、リンダ・リトー、秋山孝 / 受講者: 46名
- 6.22.wed / 1,000,000人のキャンドルナイト in APM / 企画: (株)高田建築事務所 / 参加者: 50-60名
- 6.30.thu-7.10.sun / 博物館実習 in APM / 実習者: 熊倉緑(造形大)、藤田みのり(造形大)
- 7.9.sat-9.23.fri / 第7回企画展「秋山孝ポスター展3」
- 7.9.sat / 第11回美術館大学「長岡の教育の歴史」/ 講師: 稲川明雄、秋山孝 / 受講者: 64名
- 7.9.sat / APM2周年記念懇親会 / 参加者: 69名
- 7.13.wed / 第8回APM課外授業「町探検 in APM / 秋山孝ポスター展3」/ 上組小2年生 / 指導教諭: 柳宏美 / 参加者: 23名
- 8.3.wed / 第12回美術館大学「夢を抱いて明日に希望を！」/ 講師: 豊口協、秋山孝 / 受講者: 65名
- 8.5.fri / 第51回関東甲信静地区造形教育研究大会・新潟大会 美術館研修
- 8.24.wed / 日本建築学会大会・建築デザイン発表会「建築vsモノづくり」部門受賞
- 10.1.sat-10.31.mon / 第8回企画展「メッセージイラストレーションポスター展3」
- 10.1.sat / 第13回美術館大学「長岡のデザイン教育」/ 講師: 木村保夫、秋山孝 / 受講者: 43名
- 10.8.sat / 第9回APM課外授業「My タワー」/ まちかど美術館2011 / 上組小6年生 / 会場: 宮内商店街、APM / 企画: 上組小 / 協力: (株)高田建築事務所、APM / 参加生徒: 97名
- 10.26.wed / 第10回APM課外授業「メッセージポスターがどんなことを言っているか想像しよう、返事をしよう」/ 上組小3年生 / 指導教諭: 金澤健志 / 参加者: 約90名
- 11.23.wed / 島山ギター教室・演奏会 / 講師・演奏: 島山徳雄
- 2.6.mon / キャンドルナイト in 宮内 / 会場: 宮内商店街、APM / 企画: 上組小6年生



2011.6.30.thu-7.10.sun / 博物館実習 in APM



2011.8.3.wed / 第12回美術館大学「夢を抱いて明日に希望を！」



2011.8.5.fri / 第51回関東甲信静地区造形教育研究大会・新潟大会 記念講演

### 2012年度 (2012.4~2013.3)

- 4.21.sat / 2012年度運営委員会、サポーターズ倶楽部役員会合同会議
- 4.21.sat-6.24.sun / 第9回企画展 秋山孝ポスターコレクション研究3「ノー・モア・フクシマ」

- 4.21.sat/第14回美術館大学『『ノー・モア・フクシマ』について』/講師:U.G.サトー、福田毅、高田清太郎、秋山孝/受講者:46名
- 5.18.fri/第11回APM課外授業「原発ポスター講評会」/造形大・御法川研究室/参加者:10名
- 6.15.fri/第12回APM課外授業「地震ポスター講評会1」/造形大・御法川研究室/参加者:10名
- 6.21.thu./1,000,000人のキャンドルナイト in APM/企画:(株)高田建築事務所/参加者:64名
- 6.24.sun-7.8.sun/博物館実習 in APM/実習者:阿部春花(造形大)、庭野真梨子(造形大)
- 7.7.sat/第13回APM課外授業「地震ポスター講評会2」/造形大・御法川研究室/参加者:10名
- 7.7.sat-9.23.sun/第10回企画展「越後百景十選」秋山ポスター展4
- 7.7.sat/第15回美術館大学「『越後百景十選』について」/講師:河田博、秋山孝/受講者:72名
- 7.7.sat/APM3周年記念懇親会/参加者:68名
- 7.8.sun/第14回APM課外授業「ポーランドポスターについて」/多摩美大学院生・卒業生/講師:秋山孝、御法川哲郎/参加者:26名
- 7.18.wed/第15回APM課外授業「町探検 in APM」/『越後百景十選』秋山孝ポスター展4/上組小2年生/指導教諭:関谷晴代/参加者:38名
- 8.3.fri/第16回美術館大学「ワルシャワ国際ポスタービエンナーレについて」/講師:甲賀正彦、御法川哲郎、秋山孝/受講者:67名
- 10.6.sat-10.31.wed/第11回企画展「メッセージイラストレーションポスター展4」
- 10.6.sat/第17回美術館大学「新企画2013『高田清太郎の建築デザイン哲学』と『ポーランドポスターの巨匠展』について」/講師:高田清太郎、御法川哲郎、秋山孝/受講者:44名
- 10.6.sat/第16回APM課外授業「なりたい自分」/まちかど美術館2012/上組小6年生/会場:宮内商店街、APM/企画:上組小/協力:(株)高田建築事務所、APM/参加生徒:76名
- 10.7.sun/第17回APM課外授業「メッセージイラストレーションポスター展4について」/多摩美大学院生・卒業生/講師:秋山孝、御法川哲郎/参加者:24名
- 11.17.sat/朝飯会・まちづくり講演会/講師:高田清太郎/参加者:13名
- 2.9.sat/第18回APM課外授業「長岡市立上組小学校アートイベント「上組地域への感謝の会」」/会場:宮内駅〜宮内商店街、APM/企画:上組小6年生/協力:(株)高田建築事務所、APM/指導教諭:神谷典男/入館者:138名(上組小6年生含む)

### 2013年度 (2013.4~2014.3)

- 4.20.sat/2013年度運営委員会、サポーターズ倶楽部役員会合同会議
- 4.20.sat-5.25.sat/第12回企画展「秋山孝が選んだ高田清太郎の30の金言『高田清太郎の建築デザイン哲学』展」
- 4.20.sat/第18回美術館大学「秋山孝が選んだ高田清太郎の30の金言『高田清太郎の建築デザイン哲学』について」/講師:高田清太郎、秋山孝/受講者:73名
- 5.1.wed/「社聴熟」/株式会社 高田建築事務所/参加者:53名
- 5.2.thu./第19回APM課外授業「つなごろう 〜アートを通して広がる世界・広がる生き方〜」/上組小6年生/参加者:98名
- 6.1.sat-6.29.sat/第13回企画展「秋山孝ポスターコレクション研究4『『ポーランドの巨匠 in 長岡』展」
- 6.1.sat/第19回美術館大学「『ポーランドポスターの巨匠 in 長岡』について」/講師:御法川哲郎、秋山孝/受講者:68名
- 6.2.sun/第20回APM課外授業「『ポーランドポスターの巨匠 in 長岡』について」/多摩美大学院生・卒業生/講師:秋山孝、御法川哲郎/参加者:28名
- 6.17.mon-6.21.fri, 7.1.mon-7.7.sun 計10日間 ※6.18.tue, 7.2.tue休館/長岡造形大学「博物館実習」 in APM/実習者:海津紗弥香、杉山沙織、須佐葉月、鈴木智里、堀内まりえ
- 7.6.sat-9.23.mon/第14回企画展「メッセージイラストレーションポスター十四選『声なき声を聞く』秋山ポスター展5」
- 7.6.sat/第1回APMワークショップ「多色刷木版画でポストカードをつくらう!」/会場:APM蔵/講師:たかだみつみ/参加者:20名(他見学者:5名)
- 7.6.sat/第20回美術館大学「メッセージイラストレーションポスター十四選『声なき声を聞く』秋山孝ポスター展5について」/講師:秋山孝/受講者:60名
- 7.6.sat/APM4周年記念懇親会/参加者:51名
- 7.7.sun/第21回APM課外授業「メッセージイラストレーションポスター十四選『声なき声を聞く』秋山ポスター展5について」/多摩美大学院生・卒業生/講師:秋山孝/参加者:28名
- 8.3.sat/第21回美術館大学 第1部「秋山孝 自作を語る3」、第2部「我 斯く 建築に向かう」/講師:第1部 秋山孝、第2部 平山育男/受講者:63名
- 8.22.thu./第2回APMワークショップ1「ステンシルでオリジナルうちわ作り」/会場:APM/講師:たかだみつみ/参加者:2名
- 8.24.sat-29.thu./第2回APMワークショップ2「夏休みFinalワークショップ祭り」/会場:APM/講師:たかだみつみ/参加者:3名
- 9.11.wed/第22回APM課外授業「町探検 in APM」/メッセージイラストレーションポスター十四選『声なき声を聞く』秋山孝ポスター展5/上組小2年生/指導教諭:笠井美美子/参加者:25名
- 10.5.sat-10.31.thu./第15回企画展「メッセージイラストレーションポスター展5」
- 10.5.sat/第3回APMワークショップ「機那サフラン酒本舗鏝絵柄 蔵書票をつくる」/会場:APM、APM蔵/講師:たかだみつみ/参加者:4名
- 10.5.sat/第22回美術館大学「東京装画賞について」/講師:末房志野、御法川哲郎、秋山孝/受講者:51名
- 10.6.sun/第23回APM課外授業「『メッセージイラストレーションポスター展5』講評会」/多摩美大学院生・卒業生/講師:秋山孝/参加者:26名
- 10.19.sat/第4回APMワークショップ「APMハロウィーン仮装パーティー!!!」/会場:APM、APM蔵、宮内商店街/講師:たかだみつみ/参加者:8名(他保護者6名)



2012.4.21.sat/第14回美術館大学  
『『ノー・モア・フクシマ』について』



2012.6.24.sun-7.8.sun/  
博物館実習 in APM



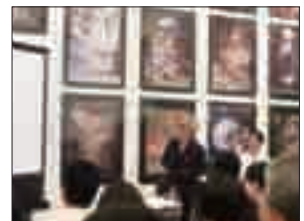
2012.8.3.fri/第16回美術館大学  
「ワルシャワ国際ポスタービエンナーレについて」



2013.2.9.sat/上組小学校アートイベント  
「上組地域への感謝の会」



2013.4.20.sat/第18回美術館大学  
「高田清太郎の建築デザイン哲学」について」



2013.6.1.sat/第19回美術館大学  
「『ポーランドポスターの巨匠 in 長岡』について」



2013.7.6.sat/第1回APMワークショップ  
「多色刷木版画でポストカードをつくらう!」

- 10.25.fri-11.1.fri / 上組小 こだま美術館 第31回企画展「地域に感謝 未来に翔(は)ばたけ 秋山孝ポスター美術展」/  
会場:上組小 こだま美術館
- 10.25.fri / 第24回APM課外授業「小学生美術館大学」(上組小 こだま美術館 第31回企画展「地域に感謝 未来に翔ばたけ 秋山孝ポスター美術展」関連企画) / 上組小6年生 / 講師:秋山孝 / 受講者:102名
- 12.15.sun / 第5回APMワークショップ「美術館をクリスマスデコレーション!」 / 会場:APM / 講師:たかだみつみ / 参加者:2名
- 2.22.sat / 第25回APM課外授業「ありがとうアート ～わたしのまち～」(上組小、APM連携展覧会) / 会場:APM / 企画:上組小6年生 / 協力:(株)高田建築事務所 / 指導教諭:黒井美智子 / 入館者:74名(上組小6年生含む)



2013.10.6.sun / APM課外授業  
『メッセージイラストレーションポスター展5』講評会

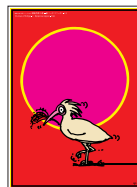
※ 略称について / APM:秋山孝ポスター美術館長岡、多摩美:多摩美術大学、造形大:長岡造形大学、上組小:長岡市立上組小学校  
※ 美術館大学の受講者について / 人数は講師を含む

## 【入館者数】

2009年度(2009.4~2010.3):1980名  
2010年度(2010.4~2011.3):1034名 / 累計3014名  
2011年度(2011.4~2012.3):1005名 / 累計4019名  
2012年度(2012.4~2013.3):1004名 / 累計5023名  
2013年度(2013.4~2014.3):1344名 / 累計6367名

## 【秋山孝ポスターコレクション】 2014年3月1日現在

- 秋山孝ポスター(1981年-) :186点
  - 日本ポスター(1949年-) :54点
  - 韓国ポスター(1966年-) :57点
  - 中国ポスター(1951年-1994年) :235点
  - 中国ポスター(1995年-) :9点
  - 「Voices in Freedom」展  
メキシコ革命100年・独立200年記念ポスター  
(2010年) :111点
  - 「GLOB-ALL MIX」ポスター展  
リオ・地球サミットにおける展覧会ポスター  
(1992年、2012年) :62点
  - 「NO MORE HUKUSHIMA」展 / 反原発ポスター  
(2011年) :241点
  - ポーランドポスター(1957年-) :73点
- 総計:1028点



秋山孝ポスター  
(1981年-)



日本ポスター  
(1949年-)



韓国ポスター  
(1966年-)



中国ポスター  
(1951年-1994年)



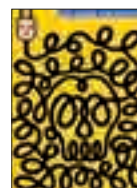
中国ポスター  
(1995年-)



「Voices in Freedom」展  
ポスター(2010年)



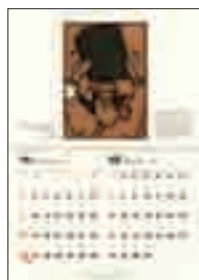
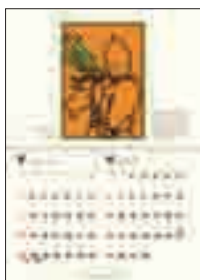
「GLOB-ALL MIX」  
ポスター展ポスター  
(1992年、2012年)



「NO MORE  
FUKUSHIMA」展  
ポスター(2011年)



ポーランドポスター  
(1957年-)



Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka 2014年カレンダー

## 2014年「秋山孝ポスター美術館長岡」企画展・美術館大学のご案内

- 第16回企画展「宮内・撰田屋百景展」／4月19日(土)～6月30日(月)
  - ・ 第23回美術館大学『『宮内・撰田屋百景』について1』  
講師：御法川哲郎、大町駿介、たかだみつみ、秋山孝／4月19日(土) pm3:00～4:30
  - ・ 第24回美術館大学『『宮内・撰田屋百景』について2』  
講師：大町駿介、高田清太郎、秋山孝／5月31日(土) pm3:00～4:30
- 第17回企画展「秋山孝ポスター展6」／7月13日(日)～9月22日(月)
  - ・ 第25回美術館大学／8月5日(火) pm3:00～4:30
- 第18回企画展「メッセージイラストレーションポスター展6」／10月4日(土)～10月31日(金)
  - ・ 第26回美術館大学／10月4日(土) pm3:00～4:30

- ・ 開館時間：午前11時～午後5時まで（入館は閉館の30分前まで）
- ・ 休館日：火曜日
- ・ 開館期間：4月～10月／閉館期間：11月～3月
- ・ 入館料：無料



秋山孝ポスター美術館長岡の建造物は1925年(大正14)に建設されました。以来86年を迎えた歴史的建造物です。(長岡市都市景観賞、新潟県建築事務所協会・奨励賞)

APM14  
Report-5 2014-2013 Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

発行日 : 2014年4月1日  
 発行者 : 秋山孝  
 発行所 : 秋山孝ポスター美術館長岡  
 〒940-1106 新潟県長岡市宮内 2-10-8 / Tel,Fax : 0258-39-1233  
 E-mail : info@apm-nagaoka.com URL : http://apm-nagaoka.com

編集/デザイン: 秋山孝、御法川哲郎  
 印刷所 : 東銀座印刷出版株式会社 ※無断で複写、複製および使用を禁ず。

APM14  
Report-5 2014-2013 Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

Date of issue : 2014.04.01  
 Publisher : Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka  
 2-10-8 Miyuchi Nagaoka-city Niigata 940-1106 Japan / Tel,Fax : 0258-39-1233  
 E-mail : info@apm-nagaoka.com URL : http://apm-nagaoka.com  
 Edit/Design : Takashi Akiyama, Tetsuro Minorikawa  
 Printed in Higashi-Ginza Insatsu-Shuppan Inc.

© 2014 Takashi Akiyama, Published in Japan by Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka.

All right reserved.No part of this book may be reproduced in any form or by any means, electronic or mechanical,including photocopying or recording, or by any information storage and system, without permission in writing from the publisher.

・中綴製本/A4(天地297×左右210mm) ・表紙・本文:ライトスタッフGA菊Y93.5kg

「秋山孝ポスター美術館長岡」

運営委員会 2013年4月1日～2014年3月31日

館長: 秋山孝 (多摩美術大学教授)  
 会長: 豊口協 (長岡造形大学理事長)  
 副会長: 牧野忠昌 (長岡藩牧野家17代当主)  
 副会長: 高田清太郎 (髙田建築事務所代表取締役社長)  
 幹事: 秋山善広 (大日本印刷(株)市谷第1営業本部)  
 幹事: 中村隆 (NPO法人醸造の町撰田屋町おこしの会・会長)  
 幹事: 高田勉 (髙田建築事務所専務取締役)  
 幹事: 立神剛 (髙北越銀行宮内支店長)  
 監事: 丸山博 (NPO法人醸造の町撰田屋町おこしの会・副会長)

サポーターズ倶楽部役員 2013年4月1日～2014年3月31日

会長: 高田清太郎 (髙田建築事務所代表取締役社長)  
 顧問: 秋山孝 (多摩美術大学教授)  
 理事: 覚張良裕 (髙田建築事務所専務取締役)  
 理事: 小川八重子 (髙鶴亀社取締役専務)  
 理事: 今井進太郎 (グローバルマーケティング(株)代表取締役)  
 理事: 山本敦 (髙ネオス代表取締役)  
 理事: 渡辺千雅 (My-Skip代表)  
 理事: 高田彰 (高田屋商店代表取締役社長)  
 理事: 平澤広栄 (長岡商工会議所)  
 監事: 脇屋雄介 (長岡移動電話システム(株)代表取締役社長・放送局長)

